学校番号	3024

令和 03 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ２年	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典Ｂ　古文編・漢文編」（三省堂）						
副教材等	「体系古典文法」（数研出版）、「新明説漢文」（尚文出版）・「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「核心古典単語３５１」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生は１年次に学習した基本的な古典文法・漢文句法をさらに深く理解し、語彙を増やしつつ正確な現代語訳ができるようになることで、古典の読解力を高めていく時期です。
・様々な古典作品を文法・句法に基づき正確に読解していきましょう。そして作品に表れる思想や感性を的確に捉えていきましょう。
・古典文学には人間の普遍的な感性や知恵があふれています。それを通して自身の見識をより深いものにしてくれることを期待しています。
・予習として本文を読み込み、語句の意味や文法事項について下調べをしてきてください。また、授業後の復習も充実させてください。それらの取り組み方次第で、１年次に身につけた基礎がどこまで発展するかが大いに変わってきます。能動的な学習が必要です。

2　学習の到達目標

・古典作品を読みときながら、用いられる語句や文法・句法を理解し、文章を正確に読解する力を養う。
・学習する古典文学を通して伝統的な言語文化に対する興味関心を深め、豊かな感性を培う。
・伝統的な言語文化に対する興味関心を通して国語を尊重する態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を正確に読み解くことで、そこに表現されている思想や感性を理解し、伝統的な言語文化に興味をもって向き合っている。			古典の文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を発展させている。	古典文法や句法・語彙や当時の生活などについて理解を深め、必要な知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話一	教材: 『今物語』 「やさし蔵人」	○			◎	○	a 当時の人々の心の動きを説話を通して知ろうとしている。 d 事の成り行きと和歌の関係を的確に読み取っている。 e 和歌にかかわる知識を吸収し理解を深めている。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	随筆一	教材; 『枕草子』 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」	○			◎	○	a 作品に表れる作者の機知を味わおうとしている。 d 平安時代の宮中の様子や人物の関係について的確に把握している。 e 敬語法について確実に理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	物語一	教材; 『伊勢物語』 「初冠」 「狩りの使ひ」	○			◎	○	a 秀逸な歌物語の美しさを味わおうとしている。 d 作中人物の複雑な心情を的確に読み取っている。 e 和歌の修辞法・助動詞の識別などの古典文法を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	小話	教材; 『世説新語』 「漱石枕流」 『後漢書』 「糟糠之妻」 『西京雑記』 「王昭君」	○			◎	○	a 現代に伝わる言葉の故事を理解しようとしている。 d 文章の論理的構成や悲話の成り行きを読み取っている。 e 重要句形や漢文特有の語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	随筆二	『徒然草』 「あだし野の露消ゆる時なく」 「世に語り伝ふること」	○			◎	○	a 作者の感じ方や見識に触れ、その魅力を捕らえようとしている。 d 作者の無常観や人間観がどのように作品に表れているかを読み取っている。 e その時代のあり方や作者の思想を理解し、語彙を把握している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査

1学期	史伝	『史記』 「鴻門の会」 「四面楚歌」 「項王最期」	○			◎	○	a 登場人物の行動を通して、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 d 長文を読み込んでそれぞれの人物像をそこに見出し、心情を解釈しようとしている。 e 『史記』について、重要句形や語彙について理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
2学期	和歌	教材: 『古今和歌集』『後撰和歌集』『拾遺和歌集』『後拾遺和歌集』『千載和歌集』『新古今和歌集』	○			◎	○	a 和歌に読み込まれた情景や心情を理解しようとしている。 d それぞれの和歌の豊かな風情を味わっている。 e 修辞技法などを理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	物語二	教材; 『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「藤壺の入内」 「北山の垣間見」	○			◎	○	a 優れた物語文学を読み、登場人物の心情やものの考え方などを読み取ろうとしている。 d それぞれの場面の状況やそれに付随する登場人物の心理を的確に読み取っている。 e 源氏物語を頂点とする中古の文学への知識や物語の文化的背景について理解を深めている。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	文章	『古文真宝』 「漁父辞」 『唐宋八大家文読本』 「送薛存義之任序」	○			◎	○	a 名文が語りかけるその時代の思想の典型に関心を深めている。 d 作中に現れる隠者像や廉直な人物像を理解している。 e 既習の句法を整理して理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	日記	教材; 『更級日記』 「あこがれ」 「源氏の五十余巻」	○			◎	○	a 日記文学の特色を理解しようとしている。 d 作者の物語への憧れや夢を的確に読み取っている。 e 仮名文の日記が生まれた背景や作中の古典文法を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査

2学期	思想	教材； 『論語』 『孟子』 「無恒産而有恒心者」 「不忍人之心」	○			◎	○	a 春秋戦国時代の思想を代表する文章を読み、それぞれの思想の特徴を捉えようとしている。 d それぞれの思想を理解した上でそれについての考察を深めようとしている。 e 春秋戦国時代の思想の潮流を理解している。句法・語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
3学期	思想	教材: 『老子』 「小国寡民」 『荘子』 「曳尾於塗中」 「混沌」	○			◎	○	a 儒学とは異なる思想を学び、その違いを理解しようとしている。 d それぞれの思想を理解した上でみずからの考察を深めようとしている。 e 春秋戦国時代の思想の潮流、句法・語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	物語二	教材; 『大鏡』 「花山院の出家」 「弓争ひ」	○			◎	○	a 『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解しようとしている。 d 登場人物の人間関係とその行動や心理を捉え、人物や事件についての作者の考え方を的確に読み取っている。 e 敬語法について整理し理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	思想	教材; 『漢詩稿』 『漱石詩集』 『航西日記』	○			◎	○	a 近代日本においても親しまれ、日本人によって作られた漢詩を読み、当時の思想を理解しようとしている、 d 当時の文化、思想について理解しようとしている。 e 近代日本の思想の潮流、漢詩における句法・語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c：書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については全ての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付けている。